



筑紫野市 水道事業 開始 60周年

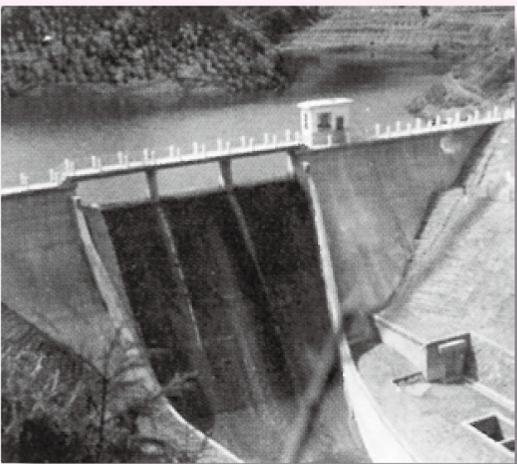
記念コラム「水道のあゆみ」すいどう

市の水道事業は、昭和32年に事業認可され、昭和35年から給水を開始しました。

給水開始当時、平等寺地区の山中川に建設した水呑ダム(有効貯水量8万5千 m^3)を水源とする水は、山口第一浄水場で浄化された後、二日市地区の市街地および針摺・石崎地区の住宅地へ送られていました。

当初の計画給水人口(水道から給水を受ける人口)は、1万5千人で、計画1日最大給水量(年間で最も多く給水する日の水量)は3千 m^3 でしたが、その後の水需要の増加や給水区域の拡張に対応するために、計6回の事業変更認可による施設整備を行い、現在は、計画給水人口10万5千6百人、計画1日最大給水量3万4千7百 m^3 で、事業を運営しています。

平成27年度の普及率は83.9%となっており、多くの皆さんに安全で安心な水を供給できるとなりました。



創設時の水呑ダム

● 問い合わせ先 上下水道料金総務課(上下水道庁舎内)
☎(0923)71113